

領域6 合同インフォーマルミーティング議事録

日本物理学会第79回年次大会 2024年9月18日 北海道大学

記録者: 矢野力三、関岳人

領域代表副代表について

次期領域代表・副代表(2025/4-2026/3)について提案があり承認された。

次期代表 松田和博(液体金属、熊本大学)

次期副代表 野島勉(超伝導・密度波、東北大金研)

領域運営委員について

現運営委員と次期運営委員(2024/10-2025/9)について確認がされた。

次々期領域運営委員(2025/4-2026/3)について以下の通り提案があり承認された。

準結晶分野 徳本有紀(東大)

超伝導・密度波分野 鈴木修(函館工業高等専門学校, 講師)

学生優秀発表賞

2024年春季大会の受賞者が以下の通り報告された。

準結晶

松原虎之介(東工大理) 準結晶と不整合変調構造を繋ぐ近似準結晶

超低温

生貝 悠人(京大院理) 超流動 $^3\text{He-A}$ 中のカイラルドメインウォールへの流れの効果

超伝導・密度波

浅野 舜(阪公大理) グラフェン/ NbSe_2 モアレヘテロ構造における超伝導状態の理論解析

液体金属

伊藤 海(熊大院自然) 第一原理分子分子動力学法に基づいた $\text{Ge}_{x}\text{Si}_{1-x}$ ガラスの静的構造

領域代表より実施要綱の概要について説明が行われた。

領域委員会報告(白濱領域代表)

年次大会(2024年)企画提案の採択、物性領域プログラム小委員会採択結果についての報告

以下の通り、企画提案の採択結果が報告された。

- ・招待講演: 9 件採択、0 件不採択
- ・企画講演: 3 件採択、0 件不採択
- ・チュートリアル: 2 件採択、0 件不採択
- ・米沢賞受賞記念講演: 2 件採択、0 件不採択
- ・AAPS-JPS Award受賞記念講演: 2 件採択、0 件不採択
- ・シンポジウム(一般): 12 件採択、0 件不採択
- ・シンポジウム(共催): 5 件採択、0 件不採択

領域委員会報告

大会運営に関するアンケート結果が報告された。

価格を上げてまでの現地開催を望む声は少なかった。

アンケート結果に基づき、当面、現行の方式(春:オンライン、秋:現地開催)を続ける。

領域IMでは特に意見は出なかった。

計算物理領域の試行について(継続審議事項1)

計算物理領域の試行について報告がなされた。

- ・WGの領域6メンバーは白濱(領域代表)、高良明英(熊本大)
- ・2025年度以降のWGメンバーは領域代表副代表で議論することが提案された。
- ・第1回, 第2回の会議に高良が出席した。

サポートレターの発出について(継続審議事項2)

物理学会からのサポートレターの発出について報告がなされた。

- ・政治的利用の懸念点と発出基準についての懸念点がだされた旨の報告があった。
- ・修正案や基準について説明がされた。

領域IMでは特に意見は出なかった。

講演概要の英語化について(新規議題)

講演概要の英語化の提案について報告があった。

理事会IMで外国人会員の意見として講演概要を英語化してほしいという提案があった。

方法案:

1. 日本語1ページと同内容の英語原稿1ページ: 合計2ページ

2. 英語1ページのみを義務づける

英語化の利点:

1. 海外研究者にも概要を読んでもらえる
2. DOIがつくことで参考文献として用いることが可能になる

以下の意見が挙げられた。

- ①現時点でも英語の提出は認めているのではないか
- ②日本語と英語の要綱をどのようにまとめるのか。(日本語英語を交互にするのか、日本語と英語を別にまとめるのか)
- ③ \times 切に変更はあるのか。
- ④英語にすることで発表件数や概要提出率の減少が懸念される。
- ⑤概要提出率の低下が懸念される。

領域委員会・計算物理WG報告(白濱)

白濱代表より報告がされた。

以下の意見が挙げられた

- ①合同セッションをどこで決めるのか？運営委員？理事会？プログラム委員？
- ②プログラムの表示時にどの領域になるのかわかりにくくなる(重複領域が多すぎるようになる懸念)
- ③計算物理での学生発表は優秀発表賞の対象にならないとのことだが、合同先の領域の審査対象には含めるのか？現実的には審査は困難。

一般講演発表件数の推移・講演概要集の提出率(白濱)

一般講演の発表件数の推移と講演概要集の提出率について白濱代表より報告があった。今年
は発表件数が増えた。全分野の発表件数が増加したが、超伝導分野の増加が顕著であった。学
生:非学生は2:1くらい。

液体金属分野運営委員より今後の分野運営方針について説明がされた。液体金属分野の近年
発表件数が低迷していたため、準結晶分野との合同運営などの提案も過去のインフォーマル
ミーティングでなされていたが、発表件数は増加傾向に転じたため、当面は単独で運営していく旨
が報告された。

国際会議などのお知らせ

以下の会議について周知された。

- ・The 19th International Conference on Liquid and Amorphous Metals 案内(液体金属)
- ・第30回低温物理学国際会議(LT-30)(2025年8月、スペイン)
- ・ULT2025(超低温物理学国際会議)(LT-30のサテライト開催予定)(2025年8月、イギリス)
- ・渦系物理ワークショップ(加藤先生より)
- ・Iron-based Superconductors: Advances towards applications (2025. 2/13-15, 宮崎)

シンポジウム提案

2025年春の分科会シンポジウム「中性子・ミュオンで加速する物性研究 ~J-PARC MLF 1MW
その先へ~」の企画が合同シンポジウム(領域3,6,8,10)として提案された。

領域6から合同シンポジウムとして企画することが承認された。